学校番号	２０６

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）化学セミナー	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　化学基礎　（東京書籍）						
副教材等	大学入試共通テスト対策　チェック＆演習　化学基礎　（数研出版） センサー　化学基礎　４th Edition　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①知識と教養を生かし、生徒自らが課題を発見し、解決に向けて科学的に判断するための力を養うことを目的とする。
②１年次に学習した「化学基礎」の内容の深化を図る。
③１年次の学習内容を復習することをはじめに行い，特に発展や参考といった「化学基礎」で触れなかった内容まで学習の幅を広げる。
④「化学セミナー」では問題演習も行うが，実験も行うので，主体的に学習に取り組むことが必要となる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「化学基礎」既習領域の学び直しにより，その内容の定着を図るとともに深化と拡張をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
実験等を取り入れ，新たな興味関心を引き出し，あわせて課題解決及び問題演習等を用いて科学的な物の見方考え方を習得するとともに，進路保障にも寄与できる実践的な学力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
実験実習に加え課題学習などにおいて自主的に学び、課題等の解決に向かう姿勢を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○「化学基礎」で学んだ内容のうち基本的な部分や基礎的な実験観察の技術が身についているか。 ○座学においては新しく学ぶ内容を理解し，課題解決ができているか。 ○実験，観察において「仮説」「実験」「考察」を適切に行うことできているか。 ○実験，観察において，新たな器具の役割を理解し，その操作について習熟できているか。	○新しく学ぶ内容と既習領域を，適切に関連付けることができているか。 ○与えられる課題について新たな解決方法を考えることができているか。 ○実験や観察によって得られたデータをもとに自らの仮説の検証を行い，その考察ができているか。 ○課題レポートや実験レポートの中で自らの意見や考察を適切に表現し，相手に伝えることができているか。	○授業に積極的に取り組み，新しい知識や技術を身につけようと努力しているか。 ○学期ごとに学習への取り組みを振り返り，自らの成長に向けた方策を考えられているか。 ○難解な疑問や困難な課題に接したとき友人とともに，その解決に向けて取り組めているか。 ○教師等の指導者に対して学習の方法や課題解決の方針などを相談できているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	既習領域の復習	○1年次で学習した「化学基礎」の内容の復習 ○学習内容の理解度，習熟度の検証	a:「化学基礎」で学んだ内容の内基本的な部分や基礎的な実験観察の技術が身についている。 b:既習領域の復習を通じて自分の学力等の現状を理解できる。 ・既習領域について単に暗記や計算法等の習得でなく，内容の理解ができる。 c:授業に積極的に取り組み，新しい知識や技術を身につけようと努力できる。 ・難解な疑問や困難な課題に接したとき友人とともに，その解決に向けて取り組めている。 ・教師等の指導者に対して学習の方法や課題解決の方針などを相談できる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト ・実験レポート ・その他提出物	・実験観察 ・実験レポート ・振り返りシート ・その他提出物

	既習領域内容の拡充	○検証によって判明した，不十分な理解や技量について補習を行いつつ，新たな内容に取り組む準備を行う。	a:「化学基礎」で学んだ内容のうち不十分と判明した部分や実験観察の技術的向上に努めた。 ・座学において新しく学ぶ内容を理解し，課題解決ができる。 ・実験，観察において「仮説」「実験」「考察」を適切に行うことできるとともに，新たな器具の役割を理解し，その操作について習熟できている。 b:新しく学ぶ内容と既習領域を，適切に関連付けることができる。 ・与えられる課題について新たな解決方法を考えることができている。 ・実験や観察によって得られたデータをもとに自らの仮説の検証を行い，その考察ができている。 ・課題レポートや実験レポートの中で自らの意見や考察を適切に表現し，相手に伝えることができている。 c:授業に積極的に取り組み，新しい知識や技術を身につけようと努力している。 ・学期ごとに学習への取り組みを振り返り，自らの成長に向けた方策を考えられている。 ・難解な疑問や困難な課題に接したとき友人とともに，その解決に向けて取り組めている。 ・教師等の指導者に対して学習の方法や課題解決の方針などを相談できている。	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト ・実験レポート ・その他提出物	・実験観察 ・実験レポート ・振り返りシート ・その他提出物

2学期	学習内容の深化と拡張	○既習領域の補完と新たな学びを創出 ○学習内容を化学基礎の範疇にとどめるのではなく，日常生活との関連や「化学」の内容にも触れる。	a:「化学基礎」で学んだ内容を十分に理解でき，課題解決に取り組むことができる。 ・座学において新しく学ぶ内容を理解し，課題解決ができる。 ・実験，観察において「仮説」「実験」「考察」を適切に行うことできるとともに，新たな器具の役割を理解し，その操作について習熟できている。 b:新しく学ぶ内容と既習領域を，適切に関連付けることができる。 ・与えられる課題について新たな解決方法を考えられている。 ・実験や観察によって得られたデータをもとに自らの仮説の検証を行い，その考察ができている。 ・課題レポートや実験レポートの中で自らの意見や考察を適切に表現し，伝えることができている。 c:授業に積極的に取り組み，新しい知識や技術を身につけようと努力している。 ・学期ごとに学習への取り組みを振り返り，自らの成長に向けた方策を考えられている。 ・難解な疑問や困難な課題に接したとき友人とともに，その解決に向けて取り組めている。 ・教師等の指導者に対して学習の方法や課題解決の方針などを相談できている。	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト ・実験レポート ・その他提出物	・実験観察 ・実験レポート ・振り返りシート ・その他提出物

	学力充実に向けた錬成	○学んだ内容を活用し，課題解決や新たな課題発見を行う。 ○課題解決に向けた方策を自らが創出，実践し，自己検証を行い，より有効な方策の創出を行うなどPDCAサイクルを意識して取り組む。	a:座学において新たな知識や技能を活用し,課題解決ができる。 ・実験,観察において「仮説」「実験」「考察」の内容を深化させることができる。新たな器具の役割を理解し,その操作について十分に習熟している。 b:新たな知識や技能を既習領域と，適切に関連付け,学問として統合できている。 ・与えられる課題についてより適切な解決方法を考えることができている。 ・実験や観察によって得られたデータをもとに自らの仮説の検証を行い,その考察を深めることができている。 ・課題レポートや実験レポートの中で考察を通じ,新たな理解や個性的な思考を表現し伝えることができている。 c:授業に積極的に取り組み,常に深い知識や新しい技術を身につけようと努力している。 ・学期ごとに学習への取り組みを振り返り,成長に向けた方策を自分で考えられている。	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト ・実験レポート ・その他提出物	・実験観察 ・実験レポート ・振り返りシート ・その他提出物
3学期				・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト	・定期考査 ・確認テスト ・課題テスト ・実験レポート ・その他提出物	・実験観察 ・実験レポート ・振り返りシート ・その他提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度